



新潟県立看護大学では、コロナ禍を経て、今一度、建学の精神「ゆうゆう・くらしづくり」に立ち戻り、
「再び、地域とともに」をテーマに授業や行事に取り組みました。
* 取り組みの内容と、先輩から後輩の皆さんへのメッセージをご紹介します！

ふれあい実習

★1年生が、地域の人々との交流を通して生活者の考え方や価値観を知り、生活者の視点で健康な生活の支援を考える「ふれあい実習」に取り組みました。



祇園祭大民謡流し

★コロナ禍を期に中断していた高田祇園祭大民謡流しに5年ぶりに学生と教職員が参加しました。踊りの曲目は4種類、覚えやすいです。皆、良い笑顔です！



2025年7月25日(木) 撮影
上越タイムズ様より許可を得て転載



大学祭「桜蓮祭」

★コロナ禍以来、初めて学外者の参加制限をなくした大学祭「桜蓮祭」を開催しました。地域の人びとと共に楽しめる企画を練り、練習の成果を披露しました。



本学のビッグイベント『桜蓮祭』の成功をめざし、1・2年次生から成る実行委員と各イベント企画者が、学年の垣根を越え協力して取り組みました。成功の秘訣は、実行委員と企画者が共に築いた『顔の見える関係性』と、依頼したことに皆が快く協力してくれる『協調性の高さ』でした。

これらの秘訣は、単科大学ならではの魅力です。

在校生一同、新入生の仲間入りを楽しみにしています！

新潟県立看護大学 2年次生
令和6年度 桜蓮祭実行委員長